

みたけ夢だより

2月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

地域と学ぶみたけの子

副校長 藤本 尚子

きびしい寒さが続きますが、3日は節分、4日は立春で、暦の上ではもう春です。花壇に植えられたチューリップは少しだけ芽を出しており、暖かい季節の到来はすぐそこまで来ています。

先日、4年生の子どもたちが総合的な学習の時間に地震のことを調べていました。地域防災拠点の委員の方々に協力していただき、防災備蓄庫を見学させてもらい、「横浜で30年以内に80パーセントの確率で起こると言われている地震が本当にあったらどうなるのだろう」という疑問を子どもたちは抱きました。11月にみたけ台小学校で行われた地域防災拠点の防災訓練にはたくさんの4年生が参加して地震への備えについて、委員の方々から話を伺い、皆さんが真剣に防災に取り組まれている様子を肌で感じることができました。また、インターネットで地震のことを調べたり北海道や熊本で被災された方々の話を聞いたりするなど様々な形で調べ学習を進めることができました。報道で見聞きする以上に地震を身近に感じ、子どもたちは備えの大切さを実感したようです。学習のまとめに、自分たちが調べたことを地域の皆さんに発信したいと考え、地域防災拠点や自治会の方々にご協力をいただき、ポスターを作成して掲示板に貼っていただいたり「防災のお知らせ」を作成し、回覧板にはさんでいただいたりする活動をした子たちもいます。今回の学習は学んだことを実際に地域の人たちとふれあって確かめたり、子どもたちから伝えようとしたところなどに大きな意味があるのだと思います。これからも学校と地域で双方向性のある学習ができればよいと思います。

本校の学校教育目標は、「健やかな心と体 夢に向かって 地域と学ぶ みたけの子」です。学校と地域が一体となってこれからも児童を育てていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

